



おぐら倉

校訓
自主
創造
協力



令和4年11月21日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

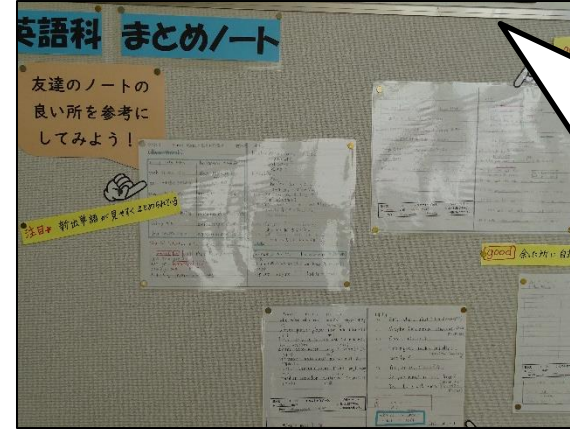
<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

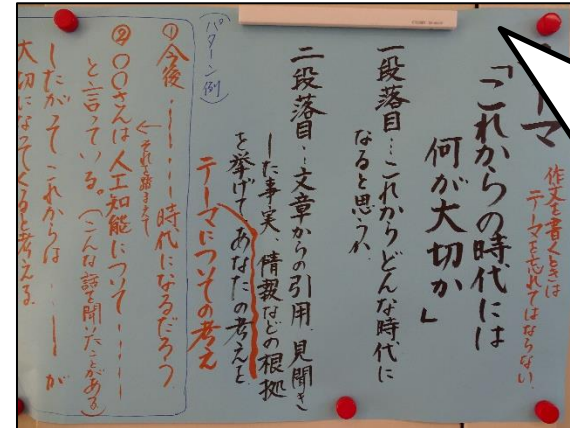
尾倉中「学びの足跡④」～学習の積み重ね～

「学びの足跡④」を紹介します。尾倉中学校では、学習したことや成果物、コンクール結果等を「学びの足跡」として掲示しています。作品や学習内容を掲示することで、次時の初めに前時の学習を振り返ることができるようにするためです。生徒のみならず、時間があるときは教室や廊下の学習内容を友だちや先生と一緒に確認してみましょう。

学習環境の整備とは、教室環境を整理整頓するだけではなく、学習のねらいを意識し、子どもが自分から興味をもって学習に取り組むことができるように環境を整えることです。その意味で、尾倉中の生徒の成果物の掲示には意味があるのです。



中学1年の英語科まとめノートです。一部紹介します。【「したいこと」を言ったり尋ねたりする表現】I want to get that blue one. I want to try it. (want to～～をしたい。Want to +動詞の原形)というようにきちんとまとめていますね。すばらしい!少し「やり取り」を加えるのもいいですよ。I want to buy a new car. What do you want to buy? I want to buy a tennis racket.というようになります。



3年生国語科の掲示です。事実、根拠、情報などを基に記述する力が求められます。高校入試の作文も論理的思考力が必要です。ここで、過去の問題を紹介しますね。「『豊かな人間性』とはあなたにとってどんなことか。それを養うために必要なこと、大切なことをあなたのこれまでの経験を含めて述べよ。」北九州市の県立高校で実際に出題された問題です。さあ、どう書きますか?



認知バイアスとは、誰もが持っている「思考の偏り(かたより)」や「思い込み」によって、合理的でない判断をしてしまうことをいいます。バイアスとは「偏り」という意味です。例えば、初対面で眼鏡をかけている人がいたら「頭が良さそう」「真面目そう」というイメージを抱いてしまいませんか? 実際のその人をよく知らないのに、先入観で見えてしまうことはありますよね。これまでの経験に基づく先入観、自分の考えが正しいという思い込みなど、さまざまな要因から、こうした認知のゆがみが生まれてしまうのです。



2年生理科の訂正ノートです。松本先生がそれぞれのノートの良い点を書いています。参考にしましょう。みなさんは聞いたことがないかもしれませんが、「ノートは思考の作戦基地」という言葉があります。タブレットなどでは情報は画面から消えていきますが、ノートは半永久的にずっと残っていきます。自分が考えた過程が一瞬で分かるのがノートのいいところです。頑張ってみよう!



図書室前の掲示板です。北九州市子ども読書の日の取組の時に文化図書委員のみなさんが作成したポスターです。どれも素晴らしいですね。校長先生のおススメは「星新一」のショートショートです。短いのでどんどん読むことができます。あとは・・・「星の王子さま」ですね。「大切なことは目に見えない」有名な言葉です。大学の時になんと!フランス語で読みました!(もう忘れましたが)



掲示物ではありませんが、3年生の保健体育(保健分野)の授業の場面です。感染症の起こり方と予防法について学習しました。新型コロナウイルス感染症は第8波に入ると言われています。まだまだ予防が必要です。浦田先生はポイントを「カード化・視覚化」してくださるので、分かりやすいと思います。体育も大切ですが、保健も今の時代とても重要な分野だと思います。